

長期療養者の方々の就職にご理解と ご協力をお願いいたします。

近年、医療技術の進歩や医療提供体制の整備等によって、日本の全がんの5年相対生存率は6割を超えており、がん患者の中にも社会で活躍している方が年々増えています。一方で、がん、肝炎、糖尿病・その他の疾病により長期にわたる治療を受けながら就職を希望する者（以下、「長期療養者」という。）に対する就職支援も社会的課題となっており仕事と治療の両立支援を強化する取り組みが必要です。

ハローワーク大曲では、「長期療養者」のため専門の窓口を設置して、大曲厚生医療センター/平鹿総合病院と連携した就職支援を実施しております。事業所の皆様におかれましては、「長期療養者」の方々の就職にご理解いただき、仕事と治療が両立し易い「両立求人」の提出にもご協力をお願いいたします。

～ハローワーク大曲による就職支援のご案内～

このような方々の就職支援を実施しています！

- 十分に働くことができる知識や技術を持っているが、検査のための通院が必要で、月1～2回または数か月に1回程度の平日の休みが必要であり理解と配慮をお願いしたい。
- 経過観察という状態で働くことはできるが、病気や治療の話をする
と採用してもらえない。
- がんなどの治療を受けていることが、就職に不利になってしまうのではないかと悩んでいる。
- 体力の低下や、薬の副作用、後遺症があるなどの状況を理解してもらえないのではと思い就職活動ができない。
- 体調維持のため残業ができないが理解してもらえるか不安。

問い合わせ先：ハローワーク大曲 紹介部門
大仙市大曲住吉町33-3
☎ 0187-63-0335



秋田労働局 ハローワーク大曲

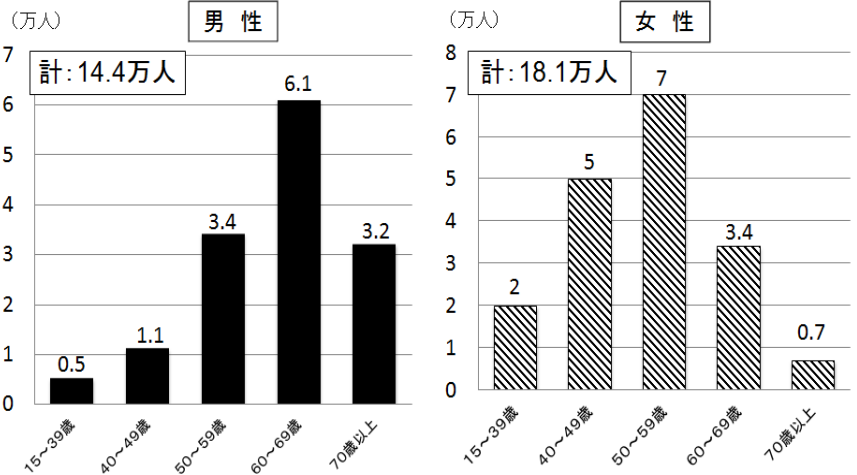
がんの現状について

○ がんの5年相対生存率は向上
(平成5～8年53.2% → **平成18～20年 62.1%**)

○ がん患者の3人に1人が就労可能年齢で罹患

○ 仕事を持ちながら、
がんで通院している者は
約32.5万人(※)

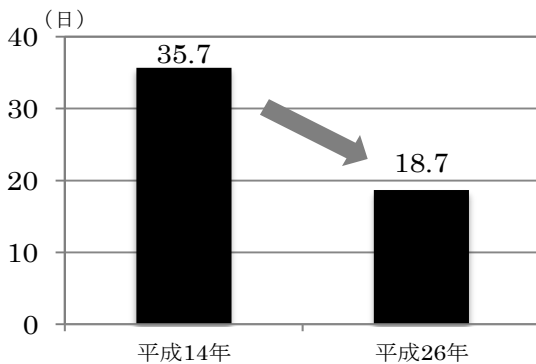
※平成22年国民生活基礎調査
に基づく推計



※ 仕事をもっているとは、調査月に収入を伴う仕事を少しでもしたことをいい、被雇用者のほか、自営業主、家族従事者等を含む。

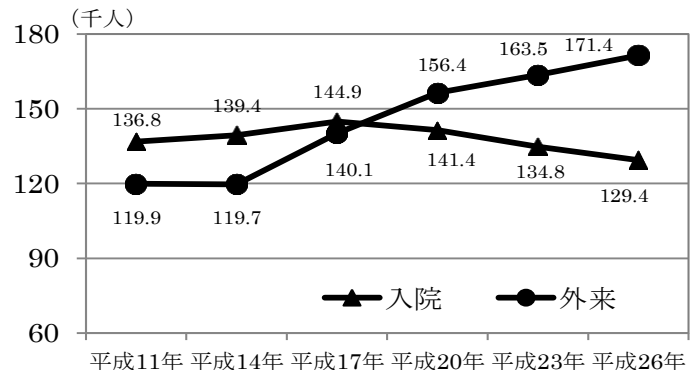
○ 入院日数は減少傾向にある一方、外来患者は増加傾向

＜図1 在院日数の推移＞



※悪性新生物（がん）の退院患者における平均在院日数（病院・一般診療所）（平成26年患者調査より作成）

＜図2 入院患者・外来患者数の推移＞



※悪性新生物（がん）の入院患者・外来患者数（平成26年患者調査より作成）

連携先拠点病院について

○ハローワーク大曲の連携先拠点病院

【平成30年11月26日】 大曲厚生医療センター

【令和4年3月8日】 平鹿総合病院

上記病院と「長期療養者就職支援事業実施協定」を締結し
連携して長期療養者に対する就職支援を実施しています。